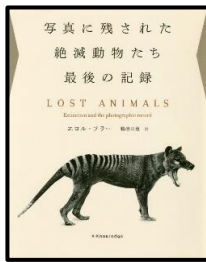




新着図書案内

2018年10月発行



『写真に残された絶滅動物たち 最後の記録 Fuller Errol』

絶滅動物に関する世界的権威であるエロル・フラーが、絶滅動物の写真記録に焦点を当て、それぞれの生き物がなぜ絶滅したのか、写真にまつわる物語を紹介する。19世紀から2000年代までの写真を多数掲載。

エロル フラー // 著 鴨志田 恵 // 訳 エクスナレッジ



『楽器の音色がすぐ聴ける 世界の民族楽器図鑑』

世界の民族楽器約100種類をザックス=ホルンボステル分類にもとづいてわけ、形状やサイズ、使われているエリア、仕組み、演奏方法、歴史と使われ方などを紹介する。80種類の楽器の音源が聴けるQRコード付き。

民音音楽博物館 // 監修 河出書房新社



『私たちは生きづらさを抱えている』

ADHD、ASD、LD…。彼らの悩みと望みとは？自身を発達障害ではないかと疑う著者が、発達障害の特性による生きづらさをテーマに、当事者を取材する。『東洋経済ONLINE』掲載をもとに書き下ろしを加えて書籍化。

姫野 桂 // 著 五十嵐 良雄 // 監修 イースト・プレス



『オオカミと野生のイヌ』

野生イヌの中核をなすオオカミについて、様々な角度から解説。さらに「オオカミ型系統」「南米系統」「アカギツネ型系統」など4つの系統ごとに種を紹介し、野生イヌの全貌を明らかにする。写真も豊富に収録。

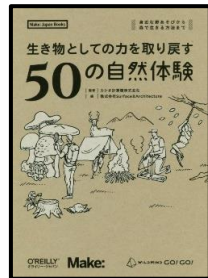
近藤 雄生 // 本文 菊水 健史 // 監修 澤井 聖一 // 写真解説 エクスナレッジ



『酒から教わった大切なこと 本・映画・音楽・旅・食をめぐるいい話』

志ん生の電気ブラン、痩せ我慢の爛酒、上海のハイボール…本・映画・音楽・旅・食をめぐる、極上の酒コラム118本を収録する。『日本経済新聞・土曜版夕刊』『銀座百点』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

東 理夫 // 著 天夢人 山と溪谷社



『生き物としての力を取り戻す 50の自然体験』

森の音を録ろう、半月で地球の公転を実感しよう、干し肉を作ろう…。これまでとは一味違う自然体験のアイデア集。身近な公園で楽しめるものから森の中で生きる方法まで、感性や心の野生を取り戻す、幅広い自然体験を紹介。

カシオ計算機株式会社 // 監修 オライリー・ジャパン オーム社



『とさめくクラゲ図鑑』

ようこそゆらめくクラゲの世界へ。クラゲの特徴を、美しい写真や学名、分類、データとともに解説。クラゲの暮らしぶりや毒などの基礎知識、知られざる魅力やクラゲグッズも紹介します。

峯水 亮 // 写真 文 山と溪谷社



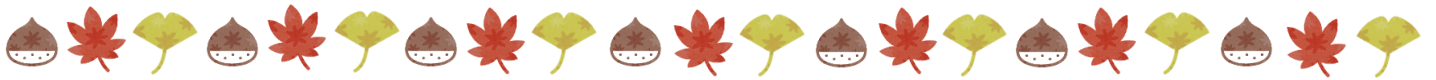
『離島ひとり旅』

まだ知らない日本に会いに行く！離島の「ひとり」旅にこだわる著者が、離島デビューにおすすめの島からマニアックな秘島まで、初・中・上級編に分けて紹介する。データ:2018年6月現在。

大島 順子 // 著 辰巳出版

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





『Jewels in the night sea 神秘のプランクトン』

肉眼では見えないきわめて小さな姿をカメラで覗いてみれば、うっとりするほどの世界があった。夜の海にただようプランクトンたちの美しくも不思議な姿を、長年におよぶ粘り強い撮影でとらえた写真集。

峯水 亮 // 写真 著 日経ナショナルジオグラフィック社

『魔女・怪物・天変地異 近代的精神はどこから生まれたか』

ヨーロッパ中世末期、各地で怪物、凶兆、天罰等々、怪異現象が大増殖した。畏怖と好奇心の交錯するなかから、いかにして近代的精神は立ち現れてくるのか。ヨーロッパ中世怪異を丹念にたどり、近代的思想の誕生を切り出す。

黒川 正剛 // 著 筑摩書房

『主治医だけが知る権力者』

ヒトラー、チャーチル、毛沢東…。世界で知られる8人の国家元首が抱えていた、持病、薬物依存、情緒不安定などの健康問題と、主治医だけが知っていた裏の顔を描く。主治医たちの人生も紹介する。

タニア クラスニアンスキ // 著 川口 明百美 ほか // 訳 原書房

『子どもと木であそぶ 樹木医が教える 「木あそび」ガイド』

アオダモの枝で蛍光ペンあそび、ナツメの葉で甘さを感じない実験、ムクロジの実でイルミネーション…。身近にある木を素材に、親子で楽しくあそべるアイデアを、樹木医の著者が紹介します。木の豆知識も満載。

岩谷 美苗 // 著 東京書籍

『身近な漢語をめぐる』

字音のみの漢字、熟語構成字の意味、四字熟語の出自、自然科学用語と比喻…。「読みのすがた」「意味のうごき」「表現のはたらき」などをテーマに、生活にいきづく漢語の知られざる魅力を探る。

木村 秀次 // 著 大修館書店

『影の日本史にせまる 西行から芭蕉へ』

西行は自ら命を絶ったのか!? 連歌師は“戦争広告代理店”だった!? 「芭蕉=忍者」説の真相は!? 和歌と俳諧の“聖人”西行と芭蕉を軸に、平安時代から江戸時代を、タブーを無視して縦横に斬る、異端の日本史談義。

嵐山 光三郎 // 著 磯田 道史 // 著 平凡社

『地図とデータで見る 女性の世界ハンドブック』

先入観を排した科学的な視点で、現代の重要な問題のひとつである女性をめぐる状況を見つめる。女性たちの目覚しい躍進とそれを妨げている要因を推定するために、120点を超える地図とデータで読み解く。

イザベル アタネ ほか // 編 土居 佳代子 // 訳 原書房

『阪神園芸甲子園の神整備』

悪天候にも重機の轍にも負けない、グラウンド整備の代名詞、阪神園芸。土や芝に対するこだわり、トンボかけや散水といった具体的な作業など、甲子園球場を整備するグラウンドキーパーの仕事を紹介する。

金沢 健児 // 著 毎日新聞出版

『世界植物探検の歴史』

「植物」はいかに発見・採集され、新しい土地に根付くようになったのか、そして人間の生活をどう変えたか。「プラント・ハンター」の活躍と植物探検の歴史を英国キュー王立植物園所蔵の美しい図版と共に解説する。

キャロリン フライ // 著 甲斐 理恵子 // 訳 原書房

『こうしてイギリスから 熊がいなくなりました』

精霊熊、罪食い熊、下水熊、市民熊…。イギリスで絶滅してしまった熊に捧げる寓話集。皮肉とユーモアを交えて独特の筆致で描いた8つの奇妙な熊の物語を、デイヴィッド・ロバーツのイラストとともに収録する。

ミック ジャクソン // 著 田内 志文 // 訳 東京創元社

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。

